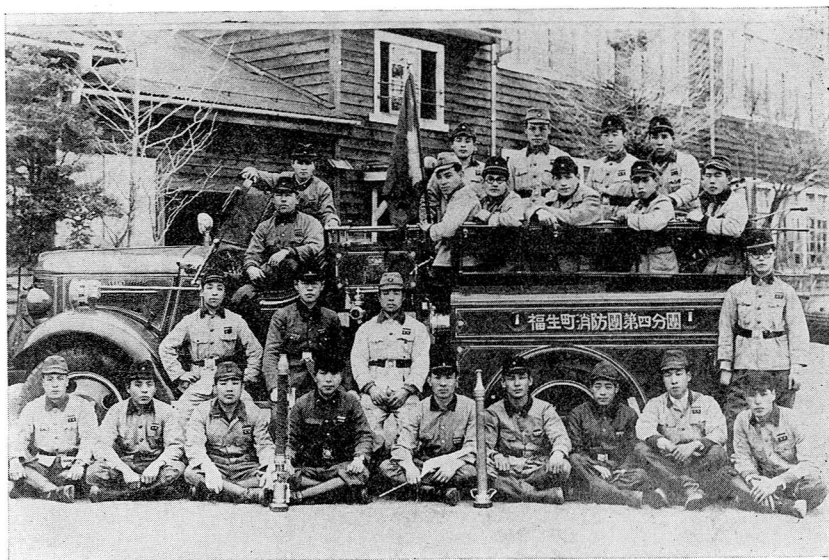


一枚の写真



昭和20年代の消防車 昭和24年度町の記録によると、消防団は5分団からなり、団を構成する地区はほとんど現在と変わっていない。組織は本部も含め団長1人、副長2人、分団長5人、副分団長6人、部長13人、班長37人、団員283人、合計で347人であった。機材は消防車が2・3・5分団に各1台、消防3輪車が4分団に1台、手挽ガソリンポンプが1・5分団に各1台、腕用ポンプが2・3・4分団に各1台で合計9台であった。現在の消防団は常設消防署が整備され、機材も改良されたためか、団長以下183人、消防車5台である。写真は4分団の消防車で、当時を知る人によると昭和27、8年に購入したころのもの。撮影地は現在も4分団が消防訓練する1小校庭である。

(写真提供 町田正寿氏)